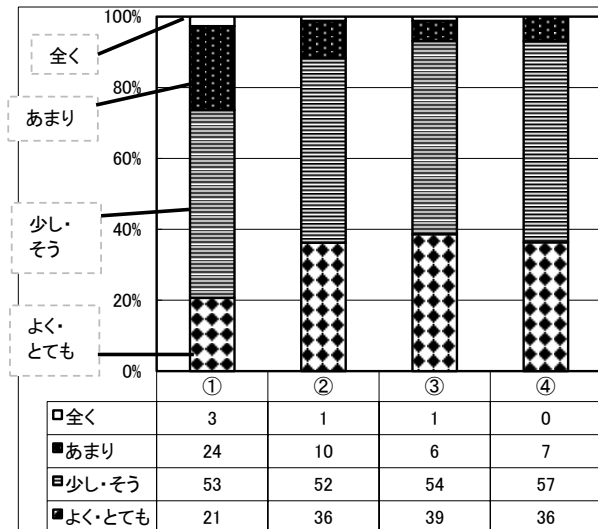


# 丸小を見つめて（保護者評価） 令和元年度

回収率:83%

## ○確かな学力

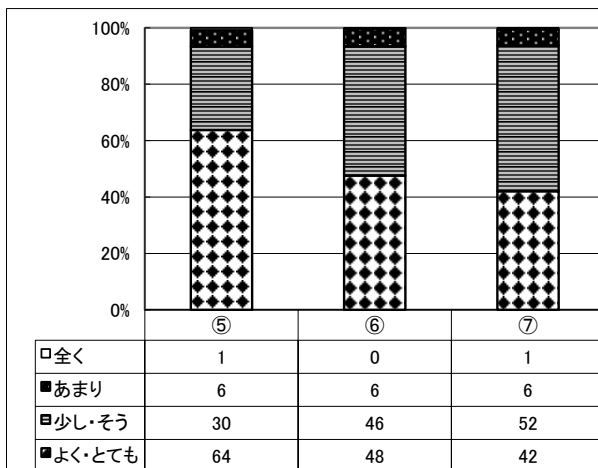


- ① 子どもは、自ら進んで学習課題を見つけ、自分の力で解決しようとしている。
- ② 子どもは、友達の話の聞いたり、自分の思ったことや考えたことを伝えたりしながら、学習に取り組んでいる。
- ③ 子どもは、発達段階に応じた系統的な学びで基礎的な学力を身につけている。
- ④ 学校は、子どもたちの学びが計画的に積み重ねられていくように、職員が一体となって取り組んでいる。

(考察)

②③④の項目については、「よく・とても」「少し・そう」が9割を超えている。しかし、①の項目については、7割にとどまっている。子どもたちが主体的に学習できるように環境づくりや授業づくりに努めていく。教職員が授業の導入の工夫や振り返りの充実などに力を入れ、子どもたちが課題を見つけ学習していくよう取り組んでいきたい。

## ○豊かな心

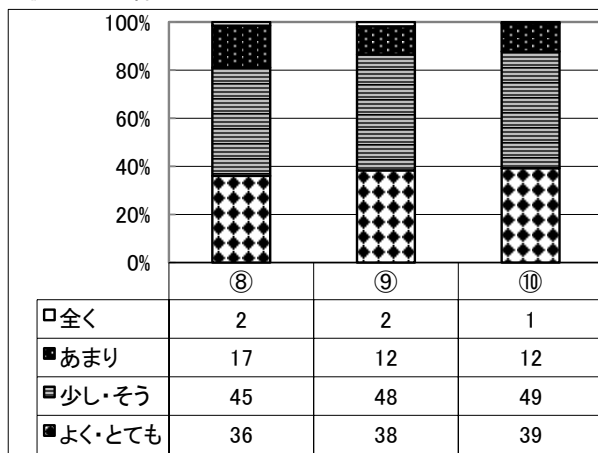


- ⑤ 子どもは、毎日楽しく登校している。
- ⑥ 子どもは、お互いに助け合い、協力し合って学習や活動をしている。
- ⑦ 学校は、子どもの学年や状況に応じて、道徳の学習を進め、人権を尊重する精神を育もうとしている。

(考察)

どの項目も昨年度同様高評価であり、若干ではあるが「よく・とても」「少し・そう」と答えた割合が増えている。⑤については、「あまり」「全く」が0になるよう、一人一人に寄り添った支援や、だれもが安心して過ごせる学級づくり、魅力ある授業づくりをめざしていきたい。

## ○健やかな体

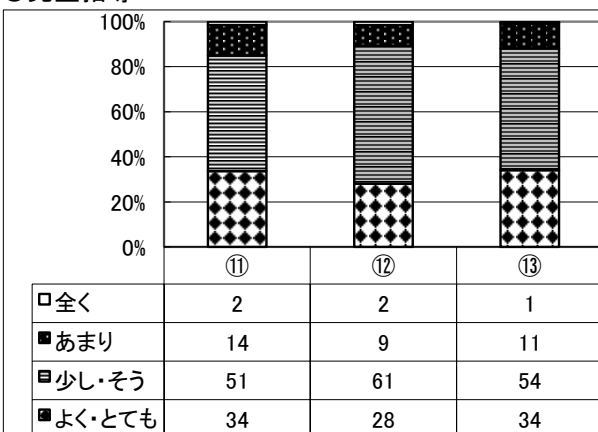


- ⑧ 子どもは、体育の授業で学習カードを用いて学習したり、外で遊んだりして、自ら進んで運動しようとしている。
- ⑨ 子どもは、くすのき週間、歯みがき週間、学校保健委員会等の活動に参加することにより、健康的な生活をしようとしている。
- ⑩ 子どもは、給食時間や給食週間の食育指導、「『食』の学び」の学習により、栄養のバランスを考えながら食事をしようとしている。

(考察)

どの項目も昨年度同様、「よく・とても」「すこし・そう」が8割を超えている。⑨、⑩は「よく・とても」の割合が増えている。今年度は新たに健康委員会や給食委員会が集会を行い、児童が健康な体づくりに関した情報を発信した。今後も子どもたちの「健やかな体」づくりが体育、保健、食育を通してより効果的に実践できるように取り組んでいきたい。

## ○児童指導

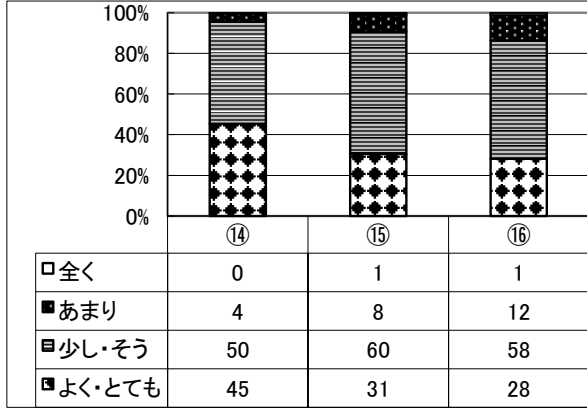


- ⑪ 子どもは、元気よく場に応じた挨拶をしている。
- ⑫ 学校は、生活や学習などの相談がある場合に、早期発見・早期解決のための対応がなされている。
- ⑬ 学校は、3か月毎にステップアップカードで学習や生活を振り返ることで、子どもが自分を見つめて次の目標を設定してよりよい生活につなげられるようにしている。

(考察)

昨年度同様、どの項目も「よく・とても」「少し・そう」が9割近い。ステップアップカードは本校の特色「四期制」の取組の一つである。長期休み前の個人面談でカードを活用し、子どもの思いを保護者と共有していることが、⑬の評価につながったと考えられる。今後もステップアップカードの内容を吟味し、自己の振り返りができるようにしていきたい。挨拶は、人間関係を築く上で基盤となるため、現状に満足することなく、今後も地域、家庭と連携しながら挨拶への取組を継続していく。

### ○特別支援教育

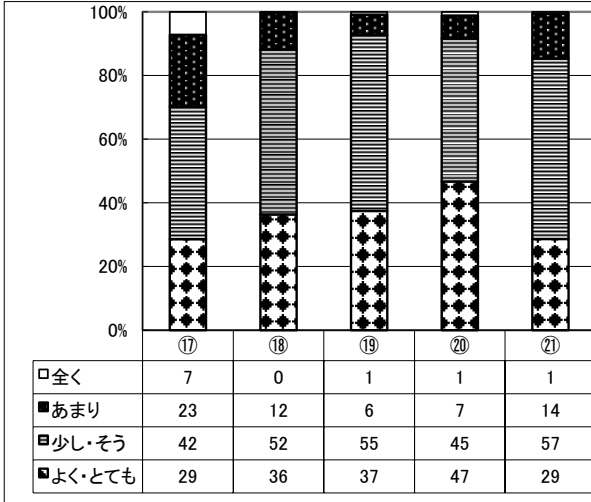


- ⑭ 学校では、備品・掲示物等を整理し、教室の学習環境を整え子どもの育ちに役立てている。
- ⑮ 学校は、だれもが安心して学校生活を送れるように1人ひとりに応じた支援をしている。
- ⑯ 学校は、子どもたちの様々なケースに対して、チームで対応して解決している。

(考察)

⑭は、昨年度と比較してわずかではあるが「少し・そう」「よく・とても」が増え、9割を超え一定の評価を得ている。また、「よく・とても」のみに着目しても、昨年度よりも少しではあるが増えている。図工の道具の置き場を新たに増やしたり、作品の掲示の工夫をしたりしてきた。⑮も「少し・そう」「よく・とても」が増え、9割を超えた。取り出し授業やT.Tでの授業を行い、個に応じた支援をしてきた。⑯は「あまり」が減り、「よく・とても」の回答が増えている。今年度同様に、今後も特別支援コーディネーターを中心に、様々なケースに対応できる支援の形を充実させていく。また、誰もが安心して学校生活を送れるように、より一層個に応じた支援を心がけていきたい。

### ○地域連携

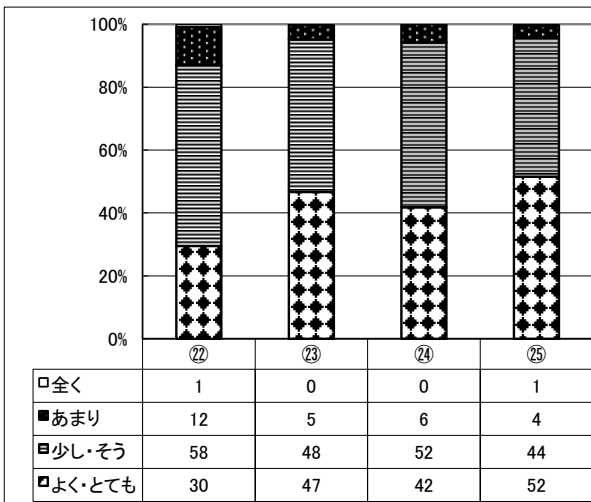


- ⑰ 子どもは、地域の行事（イベントやチルドレンサークル、自治会の行事など）に参加している。
- ⑱ 学校は、保護者や地域の方々との関わりをもって、「開かれた学校運営」になるように取り組んでいる。
- ⑲ 学校は、子どもたちの安全を守るために、地域や保護者との連携を深めている。
- ⑳ 学校は、メール配信等緊急時の連絡システムを確立し、整備を進めている。
- ㉑ 学校は、情報発信を密にし、家庭・地域からの意見を集約し反映している。

(考察)

⑱～㉑については、昨年に引き続き「よく・とても」「少し・そう」が約9割を超えている。しかし、⑰の項目については、「よく・とても」「少し・そう」が7割程度にとどまっている。学校は、授業の一環で地域との関わりを多くもっている。その学びが家庭や地域に浸透していくことができるよう、さらに家庭や地域への働きかけを工夫し、「ふるさと丸山台を愛する」児童の育成に取り組んでいきたい。⑱について、積極的に保護者や地域の力を借りつつ実習や校外学習を行っていきたい。

### ○キャリア教育

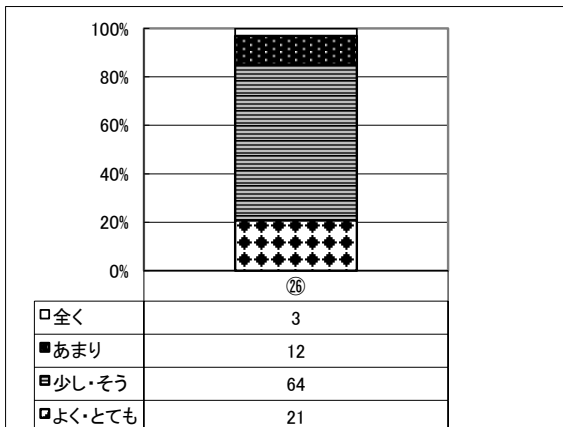


- ㉒ 子どもは、様々なキャリアをもつ人々から学んで、知識理解を深めている。
- ㉓ 学校は、学年の発達に応じた「『食』の学び」を通して、健やかな体と豊かな心を育てている。
- ㉔ 学校は、地域や様々な人との交流を通して、子どもが住むまちの良さや伝統を感じられるようにしている。
- ㉕ 子どもは、異学年交流（たてわり活動、幼保小連携、小中連携など）を通して、異学年の子どもたちと進んでコミュニケーションをとろうとしている。

(考察)

全ての項目において、「よく・とても」が去年に比べて増えている。㉓の「『食』の学び」については、発達段階を考慮して、引き続き健やかな体と豊かな心を育てていきたい。㉕の異学年交流については、今年度、休み時間に長縄跳びを通して交流ができる機会を設けた。引き続き児童が進んで他学年の子どもたちとも進んでコミュニケーションをとれるような活動を今後も大切にしていきたい。

### ○いじめへの対応



- ㉖ 学校は、いじめ基本方針に則り、定期的にアンケート（学校生活について 年2回、いじめについて 年2回）を実施するなどして、いじめの早期発見・早期対応に努めている。

(考察)

昨年度同様、「よく・とても」「少し・そう」が8割を超えている。しかしながら、いじめをなくすためには、アンケートからの把握だけでなく、日常の児童の様子をしっかりと見取り、いじめにつながるような言動を発見したら、その場でしっかりと指導していかねばならないと考える。人と人との適切な距離感（パーソナルスペース）の指導も引き続き学校全体で取り組んでいき、いじめの未然防止につなげていきたい。今後も、「いじめゼロ」をめざして教職員一丸となって取り組んでいく。